

コンプライアンスチェックシートによる自己検証の集計結果について

コンプライアンス推進の取組として、チェックシートによる自己検証を実施したところ、正規、再任用職員は 20 項目のうち、実施割合 90%未滿が 2 項目（昨年度と同じ）ありました。

また、昨年度も調査した 16 項目すべてにおいて、実施割合が向上しました。

任期付、嘱託、臨時職員については、90%未滿は無く（昨年度も無し）、全体的にコンプライアンスに関する理解が高いことがうかがえます。

平成30年度は、不祥事や不適切な事務処理が複数発生し、市民からの信頼回復に向けてコンプライアンス意識の一層の向上が求められています。

今後もコンプライアンスの推進について、積極的に取り組むようお願いします。

【集計結果（全部局集計）】

<正規、再任用職員 1,262 人>

チェック項目	実施割合		
	H30年度	昨年度	
全体	95.46%	-	
1 電話に出るとき、かけるときは、まず職場名と氏名を告げている。	98.97%	98.60%	↗
2 公文書は、保存年限、目的別にわかりやすく整理している。	98.57%	96.97%	↗
3 個人情報保護条例の概要を理解している。	97.94%	97.67%	↗
4 職場のパソコンを業務以外で使用していない（職務に関係のないWebサイトの閲覧を含む。）。	98.73%	98.21%	↗
5 メールの送信時、To・Cc・Bccを目的に沿って使い分けている（使い分けることを理解している。）。	98.10%	96.04%	↗
6 郵便、FAXの発送や送信時は、宛先と中身を複数人でチェックしている（FAXの短縮ダイヤル登録による送信は、複数人チェック不要。）。	92.95%	90.22%	↗
7 業務マニュアルを作成し、確認している。	96.04%	94.33%	↗
8 地域活動に参加している（PTA、スポーツ少年団の手伝い等を含む。）。	68.30%	67.55%	↗
9 売店などでの買物やATMの利用は、休憩時間内に行っている（私用は勤務時間外に行っている。）。	92.16%	91.54%	↗
10 日常生活において、自己研鑽を行う時間を確保している。	84.94%	83.39%	↗
11 席が近隣の職員が何をしているかを把握している（離席理由、業務の進行状況等互いに情報共有している。）。	96.59%	96.04%	↗
12 ハラスメント（セクハラ、パワハラ、マタハラ等）が疑われる行為を目撃したときは、知らないふりをせずに対応（注意、相談等）している。	97.39%	96.82%	↗
13 市全体として最優先すべき課題は何か、そのために果たすべき役割は何かを意識して仕事に取り組んでいる（全体最適を意識している。）。	97.23%	95.11%	↗
14 歩きながら、スマートフォンや携帯電話等を操作していない。	96.91%	96.04%	↗
15 来庁した市民に、「こんにちは」や「どちらの課にご用ですか」など自分から声掛けをしている。	97.86%	97.75%	↗
16 他の部署で発生したミスは、自分たちの部署でも発生する可能性があると考え、手順の見直しや確認を行うように心掛けている。	98.97%	-	-
17 公用車の同乗者は、走行中に運転者の安全確認を補助するとともに、後退時は降車して誘導している。	99.05%	98.45%	↗
18 飲酒運転はもちろん、飲酒運転車両への同乗や車両の提供についても違法であることを理解している。	100%	-	-
19 勤務時間中の喫煙には、市民から厳しい目が注がれていることを理解しており、最小限の回数・時間にしている。	99.29%	-	-
20 いつまでに何をどこまでやらなければならないか、業務の処理スケジュールを把握している。	99.13%	-	-

<嘱託、臨時職員 337人>

	チェック項目	実施割合		
		H30年度	昨年度	
	全体	98.78%	-	
1	市の職員の一員であることを自覚して仕事をしている。(公務員に対する市民の目が厳しいことを理解している。)	100%	100%	⇒
2	売店での買物やATMの利用などの私用は、休憩時間や勤務時間外に行っている(職務に専念する義務が課せられていることを理解している。)	97.33%	96.02%	↗
3	職場で知り得た情報は、友人や家族にも話してはいけないことを理解している(守秘義務が課せられていることを理解している。)	100%	100%	⇒
4	勤務中は名札を着用している(業務に支障がある場合を除く。)	98.81%	98.78%	↗
5	電話に出るとき、かけるときは、まず職場名と氏名を告げている。	98.52%	97.86%	↗
6	来庁した市民に、「こんにちは」や「どちらの課にご用ですか」など自分から声掛けをしている。	95.25%	97.25%	↘
7	交通事故・違反を起こした際には、所属長を通して総務部行政監理室に報告が必要であることを理解している。	99.11%	99.69%	↘
8	飲酒運転はもちろん、飲酒運転車両への同乗や車両の提供について違法であることを理解している。	100%	-	-
9	勤務時間中の喫煙には市民から厳しい目が注がれていることを理解しており、最小限の回数・時間に行っている。	100%	100%	⇒
10	歩きながら、スマートフォンや携帯電話等を操作していない。	98.52%	98.47%	↘

【ゴールド免許証の保有割合】

<正規、再任用職員> 73.2%

<任期付、嘱託、臨時職員> 70.3%

【項目全体の実施割合が高い上位3部局】

<正規、再任用職員>

- |   |         |         |
|---|---------|---------|
| 1 | 選挙管理委員会 | 100 %   |
| 2 | 消防      | 99.06 % |
| 3 | 監査委員事務局 | 98.00 % |

<任期付、嘱託、臨時職員>

- |   |       |       |
|---|-------|-------|
| 1 | 会計    | 100 % |
| 1 | 総務部   | 100 % |
| 1 | 財政部   | 100 % |
| 1 | 上下水道部 | 100 % |

## 【実施割合が低い（90%未満）項目】

以下の項目は、前年度よりも実施割合が向上していますが、改めて確認し、改善に努めるようお願いいたします。

<正規、再任用職員>

### No.8 地域活動に参加している（PTA、スポーツ少年団の手伝い等を含む） 68.30%

外部の人々と進んで関わりを持つことは、自らの考えや行動が一般常識として社会に通用するかを検証する機会となり、「市役所の常識は世間の非常識」との批判の解消につながります。

また、職場（市役所）以外の組織に属することにより、よりよいまちづくりを進める上で有益なネットワークを構築できる可能性が高まります。

仕事の幅を広げるためにも、職場外の人材との積極的な交流を心掛けてください。

### No.10 日常生活において、自己研鑽を行う時間を確保している 84.94%

苫小牧市人材育成基本方針において、目指すべき職員像の1つとして「行政職としてのプロ意識を持った職員」を掲げており、自己研鑽を重要視しています。

本を読む、講演を聴きに行く、課題解決のヒントを求めて気になる地域を訪問するなど、勤務時間外においても仕事の土台を築く行動があります。業務が多忙との意見も多くありますが、工夫して時間を確保しましょう。

なお、行政監理室では通信教育や自主研究グループの活動に費用助成を行っていますので、ぜひ活用してください。